

いわさき明子の議会報告



いのちを大切に、誰もが「生まれてきてよかった」と思える社会をつくるため、活動を続けています。

(みつわ台中・市立千葉高出身)

千葉市議会 第3回定例会

千葉市の財政健全化が一步前進!

～平成 29 年度決算を認定～

主要な借金が減って 4,963 億円に、実質公債費比率が 15.8%に改善しました。

*自治体の収入に対する負債返済の割合。18%以上だと、新たな借金をする時、国の許可が必要。25%以上だと借金を制限される。

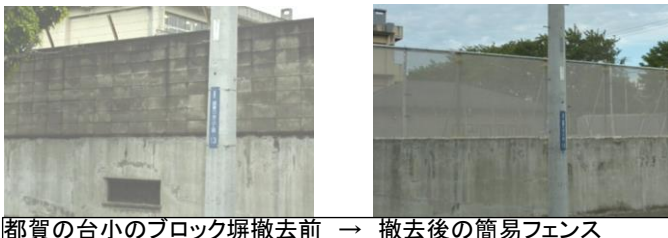
市民ネットワークが評価した主な事業

- ★あんしんケアセンターの増設・認知症対策の拡充 (高齢者への支援)
- ★母子健康包括支援センターの設置・エンゼルヘルパー派遣の初回無料化 (産前産後の支援)
- ★スクールソーシャルワーカーの拡充 (学校での困りごとを抱える子どもと家族の支援)
- ★地産地消の推進
- ★空き家問題解消に向けた全市での実態調査
- ★剪定枝等の再資源化 (ごみの減量とリサイクル)



危険なブロック塀対策で市民の命を守る

- 1 億 2100 万円で緊急撤去を完了しました。(学校 57 校 91 か所 市有施設 9 施設 10 か所)
- 5 億 4500 万円で撤去&フェンス設置を行います。(学校 103 校 332 か所 市有施設 21 施設 38 か所)



都賀の台小のブロック塀撤去前 → 撤去後の簡易フェンス

千葉市受動喫煙の防止に関する条例を全会一致で可決

タバコの健康被害を軽減 (2020 年 4 月全面施行)

従業員のいる飲食店は、面積にかかわらず原則屋内禁煙など。違反すると5万円以下の過料の罰則あり。

いわさき明子の一般質問から

学校跡施設は有効活用すべき



現在市内には統廃合で使われなくなった学校が 4 校ある。さらに、千城台南小・西小が跡施設になることが決まっている。

学校跡施設は地元の重要な財産なので、地域活性化に役立つ施設になるよう、公募市民が会議に参加する体制づくりや、文科省や民間のマッチングシステムを活用するなど、幅広くアイデアを集めて使いみちを決めるよう要望した。

蘇我石炭火力発電所建設計画と粉じん被害



環境破壊や健康被害の可能性があるにもかかわらず、市民への情報発信が不足している。

Q: ホームページ新着情報に、重要事項である環境アセスメント手続きを掲載すべきでは? に対し

A: 新着情報等を活用し情報提供する との回答。

また、市民と事業者が石炭火力発電所や粉じん被害を巡って敵対関係にならないよう、市が仲介役となり協議の場を持つよう要望した。

エアコンがない間の子どもの健康は?



学校のエアコンはなるべく早く付けられるよう事業手法を検討し、補正予算を視野に入れて取り組むと示されたが、エアコンがない間、どう子どもたちの健康を保つのが課題。

Q: WBG T 値を測定し、屋外活動の中止などが即時判断できるようにすべきでは? に対し

A: 測定器の導入を検討する との回答を得た。

また建物の断熱や樹木による日陰の確保、どんなとき熱中症になるかなどの知識の啓発を児童生徒、保護者、教職員に対して徹底することで、事故を防止するよう要望した。*温度、熱環境、気温により測定される熱中症予防指標 (暑さ指数)。